

医療情報標準化推進協議会
平成 20 年度第一回理事会・総会議事要旨

日 時 平成 20 年 7 月 4 日（金） 14:30～17:00

場 所 航空会館 B101 号室

出席者 理事；遠藤、若松、山田（MEDIS）、安藤、村田（JRS）、木村、豊田、
稲岡（JAMI）

吉村、田中、遠山（JIRA）、奥田、小笠原、細羽、橋田（JSRT）、
篠田、丹治（JAHIS）

監事；芋川（JIRA）

事務局；岡峯（MEDIS）

オブザーバー；中川（JAMI）

議題

1. 開会
2. 前回理事会(2007.3.24)の議事録確認
3. 会員の異動について
4. 平成 19 年度事業報告について
5. 平成 19 年度収支決算報告書(案)について、会計監査報告
6. 平成 20 年度事業計画(案)について
7. 平成 20 年度収支予算(案)について
8. 厚生労働省からの「標準に関する合意を形成しうる民間団体」として厚生労働行政の保健医療情報分野における標準化推進に関する取り組みに協力する件
9. 会則変更について
10. 第 6 回シンポジウムの開催について
11. 各会員からの標準化近況報告
12. その他
13. 閉会

【配布資料】

- 資料 1 幹事会員及び理事・監事名簿
- 資料 2 平成 19 年度第二回理事会議事録
- 資料 3 理事の異動
- 資料 4 平成 19 年度事業報告
- 資料 5-1 平成 19 年度収支決算報告書(案)
- 資料 5-2 会計監査結果報告書
- 資料 6 平成 20 年度事業計画(案)

- 資料 7 平成 20 年度収支予算(案)
- 資料 8 厚生労働省への回答 (厚生労働省提出)
- 資料 9 医療情報標準化推進協議会会則 (案) (厚生労働省提出)
- 資料 10 標準化委員会細則 (案) (厚生労働省提出)
- 資料 11 第 5 回シンポジウム 配布資料
- 参考資料 1 医療情報標準化推進協議会への依頼文書
- 参考資料 2 医療情報標準化推進協議会への依頼文書別紙
「保健医療情報標準化会議について」
- 参考資料 3 医療情報標準化推進協議会会則
- 参考資料 4 「医療情報標準化指針」提案申請に関するルール

- 資料 5 平成 18 年度事業報告
- 資料 6-1 平成 18 年度収支決算報告書(案)
- 資料 6-2 会計監査結果報告書
- 資料 7 平成 19 年度事業計画(案)
- 資料 8 平成 19 年度収支予算(案)
- 資料 9 第 4 回シンポジウム 配布資料
- 資料 10 標準化近況報告

議事内容

1. 出席理事と正会員の確認。

出席理事の確認がされ、定足数を満たし、理事会の成立している旨が確認された。また、正会員の確認がされ、定足数を満たし、総会の成立している旨が確認された。

2. 議決権を有する理事の確認

安藤会長より、医療情報システム開発センターの議決権を持つ武隈理事から遠藤理事に変更したい（今回のみ）との申し出があり、承認された。

3. 前回議事録の確認

資料のとおり承認された。

4. 理事の異動

理事の異動について、原案のとおり承認された。

6. 平成 19 年度事業報告について

事務局より資料のとおり事業報告があった。

7. 平成 19 年度収支決算報告書・会計監査報告について

事務局より、資料に基づいての説明と、監査報告書の確認があり、原案のとおり承認された。

8. 平成 20 年度事業計画について

安藤会長より事業計画について説明があり、以下のような提案や意見が出され、修正、追加することになった。

- ・情報の提供：標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」を作成する。
- ・ISO TC215 や IHE-J 等の標準化推進規格団体との連携を強化する。
- ・HELICS 協議会の体制の再構築と運用ルールの制定をする。

9. 平成 20 年度収支予算について

事業計画の追加にともない、事業費に「調査活動」を追加し 100 万円を計上する。

10. 厚生労働省からの「標準に関する合意を形成しうる民間団体」として厚生労働行政の保健医療情報分野における標準化推進に関する取り組みに協力する件については、資料のとおり標準化委員会細則と会則の変更が承認された。

11. 会則の変更について

事務局交代に伴い、第 1 章 総則（事務局）第 2 条の事務局所在地について変更することを、資料のとおり承認された。

12. 第 6 回シンポジウムの開催について

安藤会長より、11 月 22 日(土)午後 90 分程度、横浜で医療情報学連合大会にあわせて開催の予定、会費無料。内容については、現在審議中の 2 つの規格についてと、HELICS の使命や置かれている立場について行うこととする。

13. 各会員からの標準化近況報告について

各会員代表より説明があった。

〈幹事会員〉

- ・医療情報システム開発センター（遠藤理事）

医科病名マスターは年 5 回改訂、医薬品 HOT は各メーカーが登録を行っており、6 月 20 日には 2 千件の告示があり、都度更新を行っている。臨床検査マスターについては 15 桁から 17 桁にしたが、診療行為との付き合い合わせ作業中である。また疾患別看護セットを開発し普及し始めている。

・日本医学放射線学会（安藤会長）

2008年4月4日～6日パシフィコ横浜で行われたJRC2008においてCyberRadを行った。放射線腫瘍学会と連携して放射線治療部門のWorkflowを検討中、IHE-ROに参加予定。IHE Workshopを全国各地で開催予定。日本医学放射線学会秋季臨床大会2008年10月22日～24日で、シンポジウム、一般演題、ワークショップを予定。

・日本医療情報学会（木村理事）

IHE協会でPDIをHELICS協議会に規格申請した。11月に医療情報学連合大会を開催予定。最終日に産官学のシンポジウム等を企画。臨床試験の標準化にも取り組んでいる。

・日本画像医療システム工業会（吉村理事）

DICOMの2008年度版を翻訳中。DICOMの入門書を翻訳したものが販売予定。画像表示のモニタの標準ガイドライン。

・日本放射線技術学会（奥田副会長）

JJ1017拡張作業、普及活動。9月27日に学術大会開催。

・保健医療福祉情報システム工業会（篠田副会長）

幹事会社が富士通から東芝メディカルシステムズに変更になった。標準化推進部は部会に昇格。標準を作成するだけでなく普及活動も行っている。相互運用性事業が終わった、基本データセット（7分野）を作成する。7月9日コクヨホールにて業務報告会開催。「国際標準化白書」を来年3月発行予定。

《正会員》

・日本HL7協会（豊田理事）

10周年を迎え組織の見直しを行っている。ユーザー団体も参加可能。来年5月HL7のWGを京都で行い、アジア初となる。

・日本総合健診医学会（稲田代表）

優良施設を認定する。特定健診への対策。一般健診と特定健診を合わせてCDA。

・日本PACS研究会（喜多代表）

医用画像電子化研究会など各種研究会、勉強会の開催。ePHDS(enhanced Personal Data Sharing)委員会では、日本IHE協会と共同でXDSの利用、主に放射線医学研究所の粒子治療を例にOpen Sourceを使用したシステムを検討し、接続テスト等を行っている。また波形の標準化を検討しており、ISO化されたMFERのHELICSへの規格申請を予定している。

14. その他

「国立病院機構病院情報システム医事会計標準インターフェイス（案）第0.9.1版 2008年6月12日」についての意見（豊田理事提案）

HELICS協議会として、代替え案を盛り込み、反対意見を提出することで承諾。